

公開講座

国際リニアコライダー(ILC)を考える

ILC：超高エネルギーの電子・陽電子の衝突実験を行うため、現在、国際協力によって設計開発が推進されている加速器計画

いま、総予算1兆円といわれる総延長30kmを超える線形加速器（素粒子を探る研究装置）をもった国際研究機関を岩手県に誘致しようとする動きが進んでいます。その実体を、まずみんなで勉強しましょう。お金はどう調達するのか、推進母体の東北 ILC 協議会の将来ビジョンの中にある「放射性核廃棄物による環境負荷の低減の新たな可能性」とは何を意味するのか、はたしてこれが被災地東北にとってふさわしいものかどうかとも議論してみましよう。

日時：7月13日（土）13:30-16:00

場所：仙台弁護士会館4階

（晩翠通りと青葉通り交差点の東南）

講師：

1. 東北大学電子光理学研究センター教授 清水 肇氏
「リニアコライダー」
2. 東北大学名誉教授 井原 聰氏
「ビックサイエンスの正体を探る－何が問題なのか」
3. 岩手大学教育学部教授 武井隆明氏
「岩手からの発言」

（資料代として¥300をいただきます）



主催：日本科学者会議宮城支部、共催：日本科学者会議
後援：東北大学職員組合、東日本大震災復旧復興支援みやぎ県民センター
（問い合わせ先：東北大職組 022-227-8888）